



鈴鹿市立国府幼稚園 2024. 2. 16 No.13

## もうすぐ、生活発表会♪

2月22日(木)は、いよいよ園生活最後の保育参観、生活発表会です。子どもたちは、三学期に入ってからみんなで一緒に練習を頑張ってきました。「難しいなあ」「間違えないで、できた!」「ちょっとだけ、わからなくなっちゃった」「いい感じ!」と、子どもたちは練習する中でなかなか上手くできないもどかしさやできるようになった達成感、出来ているのか自信のない不安や友だちときれいにそろったときの嬉しさなど、様々なことを感じながら練習してきました。一人一人が諦めずに意欲的に取り組むことができるのは、大好きな家族に見てもらいたいという気持ちも大きいと思いますが、励ましてくれたり、教えてくれたり、一緒に楽しんだりする、『友だち』という安心できる存在がいてくれるからこそだなあと、日々様子を見ていて感じます。

保護者の皆様に見ていただくことをとても楽しみにしている子どもたちですが、当日は緊張で練習通りにはいかないこともあるかもしれません。しかし、途中で何があっても諦めずに取り組んでいる姿、自分なりに頑張っている姿、友だちと気持ちを合わせて取り組んでいる姿など、子どもたち一人一人の姿を温かく見守っていただけたらと思います。



### 1. 鍵盤ハーモニカ『かえるのうた』『きらきらぼし』

11月から始まった、鍵盤ハーモニカ。自分でいろいろな音が出せるのが面白くて、端から端まで順番に弾いてみたり、知っている曲を弾いてみたりして楽しむことができました。

5本の指で弾くのが難しい子は、初めは1本指で挑戦。たどたどしいながらも『かえるのうた』や『きらきらぼし』を最後まで弾くことができると、「はあ〜・・・最後まで弾けた・・・」と、達成感を味わっているようでした。

みんなで合わせるとなると、また大変!間違えてもやり直しができず、どんどん曲が進んでいってしまうので、みんな鍵盤とにらめっこしています。子どもたちは間違えても諦めず、自分が弾けるところから、再び弾き始めています。初めてみんなで合わせたときには、「すごい!いい感じ!」と、みんなの音が一つになる喜びを感じているようでした。





当日の、客席側から見た並び順です。

発表会の一番始めで、ドキドキするけど頑張るぞ！

## 2. 合奏『世界中のこどもたちが』『ドレミのまほう』

いろいろな楽器を使った合奏。始めは、好きな曲に合わせて、好きな楽器を好きなように演奏するところから始まりました。リズムに合わせて叩く子、曲の盛り上がるところで鳴らす子など演奏の仕方は様々。一曲終わるごとに「めっちゃ楽しい♪」と、心から楽しんでいる様子でした。

発表会では、子どもたちが好きな『世界中のこどもたちが』と『ドレミのまほう』の2曲を演奏することになりました。楽器は基本、自分がやりたい楽器を選びましたが、人気のものはオーディションをして、誰がその楽器をするかみんな決めました。

今までは好きなように演奏していたのが、発表会となると楽器ごとにリズムや叩くところが違うため、初めは戸惑っていましたが、慣れてくると自分の音だけではなく、友だちの楽器の音もしっかりと聞くようになり、楽しんで演奏できるようになってきました。

楽器は様々ですが、気持ちを一つに演奏する姿が見ていただけたらと思います。

小だいこ

大だいこ

シンバル

タンバリン

すず

ウッドブロック

---

客席

### 3. 劇『うめぐみにんじゃのぼうけん』

「どんな劇にしようか？」と、どんな内容にするかみんなで考えるところから、劇遊びがスタートしました。今までの経験や、読んできた絵本などから考えて、『忍者』というキーワードが、子どもたちから出てきました。すると、「忍者だから、修行するんじゃない？」  
「何の修行にする？」「修行して、宝を探しに行くのはどう？」と、次から次へとイメージが出てきて、『うめぐみにんじゃのぼうけん』の劇が出来上がりました。台詞もすべて子どもたちが考えたので、うめ組の完全オリジナルストーリーです！

始めは自信がなかったり、緊張や恥ずかしさもあったりしたようでしたが、何回も練習するうちに恥ずかしさがなくなり、覚えたところはしっかりと台詞を言えるようになり、忍者になりきっています。また、忍者になって台詞を言うだけではなく、劇中で使う小道具や大道具の準備や片付けも、子どもたちが協力して行います。

自分たちで考えた劇を、みんなで力を合わせて楽しみながら進めていく姿をご覧ください。

#### <内容>

あるところに、12人の忍者たちがいました。今日もみんなで修行に励んでいると、巻物を発見！なんとそこには、忍者屋敷とお宝への地図が描いてありました。早速みんなで宝を探しに行くことになります。道中、いろいろな困難が待ち受けていますが、修行の成果を発揮してみんなで乗り越えていきます。

果たして、忍者たちは無事にお宝をゲットすることができるのでしょうか？！

「お家の人には、内緒！！」という子どもたちも何人かいるようなので、少しだけ劇の準備の様子をお見せします！

私は、こんな絵にしようかな～♪

さて、これは何になるのでしょうか？





どんな色にしようかな・・・

集中して、劇の中でとても重要で大切なものを制作しています。

がんばれ～！！

劇の、一場面です。これは何をしているのかな？



#### 4. 歌『うめ組メドレー』『ありがとうの花』

この一年で、いろいろな歌を歌ってきました。その中から、子どもたちから「この歌を歌いたい！」という歌5曲を『うめ組メドレー』にして歌います。何の歌かは・・・当日までのお楽しみ！

そして『ありがとうの花』は、二学期末からクラスで歌い始めました。始めは発表会で歌う予定ではなかったのですが、初めて歌ったとき「この歌、いい歌やなあ」「発表会で歌うの？」と、子どもたちから声が上がりました。子どもたち自身が「歌いたい！！」という気持ちになっている様子だったので、発表会での一曲にすることにしました。大好きな家族や友だちに「ありがとう！」の気持ちを込めて歌います。

#### <当日の客席について>

客席は、右図のようになります。床に黒のテープで枠を作っているため、皆様譲り合って座っていただけたらと思います。特に、劇では正面の舞台だけではなく、客席の周りを走り回ります。危険ですので、出来る限り枠線の中に入ってくださいますよう、ご協力お願いします。

